

平成24年 第16回帯広市教育委員会会議録

1. 平成24年9月18日火曜日 18時 ～ 18時30分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教育委員長	田 中 厚 一
教育委員	市之川 敦 子
教育委員	門 屋 充 郎
教育委員	伊 藤 成 昭
教 育 長	八 鍬 祐 子

3. 本日の議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名について

日程第 2 その他(1) 小中学校における原子力発電及び放射線に関する指導の手引きについて
その他・帯広市特別表彰について

日程第 3 議案第52号 平成24年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定について
【非公開】

日程第 4 議案第53号 平成24年度帯広市文化賞及び文化奨励賞の決定について【非公開】

田中委員長

これから、平成24年第16回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(野原課長報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、市之川委員及び門屋委員を指名いたします。

日程第2、その他に入ります。

その他(1)小中学校における原子力発電及び放射線に関する指導の手引きについてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

橋場企画監

お手元にお配りしております小中学校における原子力発電及び放射線に関する指導の手引きについてご報告させていただきます。このことにつきましては、昨年3月に発生いたしました東日本大震災後に起きました福島の原子力発電所の事故を受けまして、文部科学省において、正しい知識のもと、自ら考え冷静に判断できる児童・生徒の育成を目指して、放射線に関する副読本が作成されたところでもあります。本市におきましては、学校において原子力発電や放射線に関する指導をすることの混乱を考えまして、今年5月に小中学校における原子力発電及び放射線に関する指導検討委員会を設置し、学校現場で指導する際の配慮や工夫について検討を進めてきたところでございます。このたび小中学校の学習活動の中で、この種の学習を行う際の参考資料として、お手元に配付したような手引きを作成いたしました。各学校に配付したいと考えております。内容について簡単にご説明させていただきます。1ページ目につきましては、まえがきとして、この手引きを作成するに至った経緯を記載させていただいております。2ページ目につきましては、指導上の留意点及び配慮事項などについて、実際の指導場面を想定して記載しております。3ページから4ページにかけては、学習指導要領における放射線や原子力発電、エネルギー等に関する取り扱いについて記載いたしました。5ページから9ページにかけては、帯広市で採択しております教科書の記載について、可能な限り記述や内容を具体的に示すとともに、資料の関連ページとして、副読本のページを記載しております。10ページ目以降は、特別活動において、このたびの事故などに触れる際の指導事例として、小学校高学年用として2案、中学校用として1案を提示し、全部で13ページの扱いとなっております。各学校には今回の資料を配付するとともに、学習指導要領に基づいた指導を行うことを前提に、文部科学省より配付された副読本を始め、教科書以外の補助的な資料、事故を扱う

新聞記事などを活用する場合は、公教育の責務を踏まえて学校において十分に配慮して、適切に指導するようお願いしているところがあります。なお、原子力発電等につきましては、現在様々な動きがございまして、今後も国や北海道の動きを注視してまいりたいと考えております。報告は以上でございます。

田中委員長
市之川委員

これから質疑に入ります。

平成24年9月作成となっておりますが、これを授業に生かすには、この2学期からということになりますか。

村松 室長

具体的に学校で取り扱う場合には、取り扱いについて苦慮しているということで作成した年月日が9月ということですので、これを参考にしながら、取り扱いを行う授業が今後特別活動などで増えていくと考えております。2学期からと考えていただいて結構です。

伊藤 委員

今お話をお聞きしまして、学校での対応が非常に計画的、なおかつ効果的に配列されている気がします。副読本は全児童に配付されていることと思いますが、例えば、子どもによっては副読本の中から、時事的な課題、問題との絡みから、個人的に教師側に質問するとか、更に深めたいという要望が出た場合の対応の仕方についてはどのようにされるのかお聞きします。

橋場企画監

この資料配付に先立ちまして、5月には教育委員会として学校において、放射線に関する指導をする際には、こんなことに十分配慮してほしいという考え方を示しております。その中で学習指導要領に基づいて公教育の責務を果たすということですが、実際に子どもが関心を持つ事象は様々あると思いますし、また、先生方も同じだと思います。総合的な学習の時間や夏休みの自由研究で生徒が調べてきたこともあると聞いております。そのことについては何ら止める必要はないと思いますが、ただ、そこで大事なことは、メディア・リテラシーと言いましょうか、情報を適切に自分なりに把握し、幅広い考え方ができることが大事だと思っておりますので、学校で教員が指導する際にも、物事の是非を示すのでなくて、子どもたちにいろいろなことを考えさせるという指導に努めてもらいたい。なおかつ、この事故については、まだ国の検証も終わっておりませんので、断定的な取り扱いにしないようにという案内をしているところです。

伊藤 委員
田中委員長

よろしいです。

他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局から、その他説明事項はありますか。

事務局
田中委員長

ありません。

ここで会議の進め方についてお諮りいたします。次の日程第3及び日程第4の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第6号により、非公開にいたしたいと存じます。

各 委 員
田中委員長

これにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおり取り扱いたします。

これより会議を非公開といたします。

日程第3、議案第52号、平成24年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

議案第52号、平成24年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定についてご説明いたします。議案書1ページでございます。本案は平成24年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の候補者について、帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞規則第4条の規定に基づき、受賞者を決定しようとするものでございます。帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞につきましては、推薦要領に基づきまして、受賞候補者の推薦受付をいたしました結果、スポーツ賞指導者部門には1個人、スポーツ賞成績部門には5個人2団体、スポーツ奨励賞には9個人6団体の推薦をスポーツ競技団体からいただいたところでございます。賞の選考につきましては、規則により帯広市スポーツ推進審議会に諮問し、答申を受けたものであります。選考の結果、スポーツ賞につきましては、7ページにございますように、指導者部門で1名、また、成績部門で個人の部4名、団体の部1団体を受賞候補者とする答申をいただきました。また、スポーツ奨励賞につきましては、8ページにございますように、個人の部9名、団体の部3団体を受賞候補者とする答申をいただきました。次に各受賞候補者の紹介と経歴について簡単にご説明させていただきます。まず、スポーツ賞指導者部門についてご説明いたします。9ページから10ページでございます。真田正樹様におかれましては、長年にわたり水泳を指導し競技者の育成やスポーツの普及・振興に貢献され、特にパラリンピック等に出場した小野智華子さんの指導の功績を認め、受賞候補者といたしました。次にスポーツ賞成績部門個人の部についてご説明いたします。11ページをご覧ください。まず、長谷川翼様におかれましては、本年3月、2012ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会・帯広大会におきまして、男子500mで2位に入賞されました。山根佳子様におかれましては、本年1月、第67回国民体育大会冬季大会スケート競技会スピード競技及び第61回全国高等学校スケート競技選手権大会の両大会において、女子500mで優勝されました。次に山田将矢様におかれましては、本年1月、平成23年度全国中学校体育大会第32回全国中学校スケート大会において、男子500m及び男子1000mで優勝され2冠に輝きました。次に類家大樹様におかれましては、本年8月、平成24年度全国中学校体育大会第39回全日本中学校陸上競技選

手権大会において、男子 400mで優勝されました。次にスポーツ賞成績部門団体の部についてご説明いたします。12ページになります。帯広市立帯広第八中学校アイスホッケー部におかれましては、本年2月、平成23年度全国中学校体育大会第32回全国中学校アイスホッケー大会において優勝されました。次にスポーツ奨励賞個人の部であります。13ページから14ページになります。お名前と受賞理由を読み上げさせていただきます。個人の部は9名でございます。中村美月様は、第67回国民体育大会弓道競技北海道予選会兼平成24年度北海道体育大会弓道競技の部、成年女子の部優勝でございます。今涼音様は、第65回北海道高等学校選手権水泳競技（競泳）大会兼第80回日本高等学校選手権水泳競技（競泳）大会北海道予選会、女子400m個人メドレー優勝でございます。立花あゆみ様は、第65回北海道高等学校陸上競技選手権大会、女子砲丸投優勝でございます。寺井沙希様は、第65回北海道高等学校陸上競技選手権大会、女子円盤投で優勝でございます。山本悠司様は、平成24年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会、男子73kg級2位でございます。小坂龍様は、平成23年度全国高等学校総合体育大会第61回全国高等学校スケート選手権大会、男子1500m2位でございます。萩野達哉様は、JOCジュニアカップ第35回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会男子スプリント総合2位でございます。清野竜仁様は、平成24年度北海道中学校体育大会第43回北海道中学校体操競技・新体操競技大会、中学男子種目別、跳馬で優勝でございます。武田昂大様は、第32回北海道北地区中学生弓道大会、中学男子の部個人で優勝でございます。次に団体の部は3団体であります。15ページになります。北海道帯広農業高等学校女子陸上部は、第65回北海道高等学校陸上競技選手権大会兼秩父宮賜杯第65回全国高等学校陸上競技対校選手権大会北海道予選会、学校対校女子総合優勝でございます。北海道帯広南商業高等学校女子陸上部1600mリレーチームは、第65回北海道高等学校陸上競技選手権大会兼秩父宮賜杯第65回全国高等学校陸上競技対校選手権大会北海道予選会、女子1600mリレー優勝でございます。帯広市立緑園中学校男子弓道部は、第32回北海道北地区中学生弓道大会、男子団体の部優勝でございます。以上受賞候補者の紹介をさせていただきました。なお、記者発表につきましては、今月25日に行う予定となっております。また、贈呈式につきましては、体育の日の10月8日午後6時30分から、とかちプラザ、レインボーホールにおきまして執り行う予定でございます。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長
各委員

これから質疑に入ります。
ありません。

田中委員長

別になければ質疑を終結いたします。
お諮りいたします。

議案第52号、平成24年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第52号は決定されました。

日程第4、議案第53号、平成24年度帯広市文化賞及び文化奨励賞の決定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

議案第53号、平成24年度帯広市文化賞及び文化奨励賞の決定についてご説明いたします。議案書17ページになります。本案は平成24年度帯広市文化賞及び文化奨励賞の候補者について、帯広市文化賞文化奨励賞規則第6条の規定に基づき、受賞者を決定しようとするものでございます。帯広市文化賞及び文化奨励賞につきましては、推薦要項に基づきまして、受賞候補者の推薦受付を行いました結果、2個人3団体のご推薦をいただきました。賞の選考につきましては、規則により設置した選考委員会に諮問し、答申を受けたものでございます。選考の結果、文化賞は該当者無し。文化奨励賞につきましては、文芸の分野で功績のありました、短歌誌樹樹社を受賞候補者とする旨答申がございましたので、今回、議案を提出させていただいたものでございます。次に受賞候補者の経歴につきまして簡単にご説明させていただきます。21ページをご覧くださいと思います。短歌誌樹樹社は、平成7年1月に設立され、同年5月に季刊短歌誌「樹樹」を創刊されました。その後、今日に至るまで17年にわたり、同誌の発行を続けてこられました。会員の方々は市民文藝誌編集委員、中城ふみ子賞実行委員、中城ふみ子献歌祭への協力など様々な活動を行われているほか、平成22年には同誌創刊15周年及び同誌第60号発行を機に結社賞でございませう樹樹賞を創設し、顕彰活動も行われており、歌壇の発展に大きく貢献してございます。また、同誌に掲載されております中城ふみ子に関する文献は貴重な資料となっており、同誌を通して全国の歌人との縁を深めてこられました。以上受賞候補者の紹介をさせていただきました。なお、記者発表につきましては、スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の発表と併せて今月25日に行う予定となっております。また、贈呈式につきましては、11月3日文化の日午前11時から、帯広市民文化ホールで執り行う予定でございませう。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長
門屋 委員

これから質疑に入ります。

樹樹社というのは何人くらいのグループですか。

鈴木 課長
門屋 委員
田中委員長

150名でございます。
ありがとうございます。
他になれば、質疑を終結いたします。
お諮りいたします。

議案第53号、平成24年度帯広市文化賞及び文化奨励賞の決定については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。
ご異議なしと認め、議案第53号は決定されました。
事務局から、その他説明事項はありますか。

大久保部長

それでは、私から帯広市特別表彰につきましてご説明させていただきたいと思っております。議案書23ページをご覧くださいと思います。本件はロンドンで開催されました2012パラリンピックで8位入賞されました、小野智華子さんに帯広市特別表彰を贈呈させていただくこととしたものでご報告させていただくものでございます。小野さんにつきましては、既に報道等でご承知のとおり、パラリンピックのS11クラス・視覚障害全盲クラスで日本代表として、女子50m、100m自由形、100m背泳ぎ、更に200m個人メドレーの4種目に出場されております。その結果、23ページの下に記載しておりますように、9月2日100m背泳ぎで8位入賞という快挙を遂げられたものでございます。この快挙は28ページにございますように、帯広市表彰規則スポーツ関係内規に定める受賞資格を有し、選考要件を達することから、このたびの受賞ということで決定させていただいたところでございます。小野さんは100m背泳ぎで8位入賞のほかに、出場した4種目中、3種目で自己新記録を出すなど奮闘されました。パラリンピックにつきましては、オリンピックと並んだ、もうひとつのオリンピックと言われまして、また、昨年、全面改正されたスポーツ基本法では、障害者スポーツの位置づけが明確に示され、本市といたしましても、スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の表彰対象として既に位置づけてまいりましたが、パラリンピックにつきましては初めてということになります。表彰式は現在、ご本人と調整中でございますけれども、先ほどご審議いただきました平成24年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の贈呈式の前段におきまして執り行いたいと考えております。そうすると指導者で受賞予定の真田先生と一緒に表彰ができるのではないかと考えておりますけれども、本人の意向もございますので調整させていただきたいと思っております。なお、本件の内容につきましては、明日9月19日10時から市長記者会見で発表させていただく予定でございます。ご報告は以上であります。

田中委員長
田中委員長

これから質疑に入ります。
これは教育委員会が表彰するというのではなくて、帯広市が表

彰するということですよね。同じ10月8日に一緒に表彰するということですよね。

西尾 主幹

この件につきましては、先ほどご報告させていただきましたとおり帯広市からの表彰でございますので、教育委員会としての表彰であります、スポーツ賞スポーツ奨励賞の前段にステージの上に登場していただいて、皆さんからお祝いしていただき、一旦解散し、それから、スポーツ賞スポーツ奨励賞の贈呈式という形のセレモニーを考えております。先ほど部長からもご説明したとおり、ご本人の都合もございますので、今調整中でございます。

田中委員長

分かりました。

田中委員長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了いたします。

事務局からの説明は以上であります。この際、各委員から他にご意見、ご質問等があればお受けいたします。

各 委 員

ありません。

田中委員長

別になければ、本日予定されておりました案件はすべて終了いたしました。

以上で平成24年第16回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。